

表1 「スタートアップ 코리아」総合対策 中核目標

	項目	2022年	2027年
1	世界のユニコーン企業トップ100	1社	5社
2	ベンチャー・スタートアップ企業のエコシステムランキング（注1）	10位	7位
3	ベンチャー投資規模（注2）	12兆5,000億ウォン	14兆2,000億ウォン
4	非首都圏のテクノロジー・スタートアップ割合	37.4%	40.0%
5	持株会社のCVC（注3）新規投資額	2,118億ウォン	5,000億ウォン
6	起業家精神指数ランキング（注4）	6位	3位

（注1）Startup Genomeが公表した THE GLOBAL STARTUP ECOSYSTEM REPORT 2023をもとに作成、2022年、2023年ともにソウル対象

（注2）1ウォン=0.11円

（注3）Corporate Venture Capital、事業会社が自社の事業領域にシナジー効果が期待できるベンチャー企業に対して行う投資活動

（注4）Global Entrepreneurship Monitor 2021/2022 Grobal Report（Global Entrepreneurship Research Association）にて公表

（出所）韓国政府、中小・ベンチャー企業部

表2 「スタートアップ 코리아」総合対策 戦略一覧

	具体的な推進戦略	
1	大胆なグローバルチャレンジとグローバル起業インバウンド構築	
		容易な海外起業および海外での成長支援
		グローバル政策の戦略的連携強化
		外国人の起業・就職支援
		国境と空間を超えた起業環境の構築
2	民間企業によるベンチャー投資の促進および新たな起業支援政策の導入	
		民間企業によるベンチャー投資の促進
		融合・複合型起業支援政策の導入
		小規模企業の起業家への金融体制整備
3	地域起業クラスターの活性化および地域ベンチャー投資環境の補完	
		スタートアップクラスターの構築
		非首都圏の競争力を持つスタートアップの育成
		非首都圏のベンチャー投資の活性化
4	ディープテックスタートアップの育成に向けたオープンイノベーションの活性化と規制改革	
		スタートアップと大企業とのオープンイノベーションの促進
		M&AおよびCVC制度の改善など
		新しい規制改革制度の導入
5	蓄積された経験を通じた挑戦的な起業ムードの構築	
		挑戦的な起業ムードを助成する教育
		起業につながる兵役制度と大学・研究環境の整備
		再起業と再挑戦が容易な環境の構築

(出所) 韓国政府、中小・ベンチャー企業部